

津別中学生8人 友好都市台湾・二水郷へ訪問

令和6年度 津別町・二水郷中学生交流事業帰町式

町と友好都市を結ぶ台湾・彰化県二水郷へ、1月9日から14日までの日程で訪問していた津別中学校の生徒8人が無事に帰町しました。

訪問中、生徒たちは二水国民中学校の授業に参加し、現地の生徒らと交流を深めたほか、ボルダリングやツリーイングの体験、台北市内の観光を通じて言葉や文化の違いを学びました。

27日には役場健診ホールで帰町式が行われ、参加した生徒一人ひとりが感想を述べ「貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました」と佐藤町長と近野教育長にお礼を伝えました。

佐藤町長は「今回の経験を通じて、さまざまなことを学んだと思う。これからの学校生活や将来にぜひ活かしてほしい」と、生徒たちに期待を寄せました。



▲帰町式の様子



▲二水郷公所（役場）



▲二水国民中学校での授業



▲台北での食事

10年におよぶ大事業が完了

国営農地再編整備事業 津別地区 完了報告会・完成祝賀会



▲映像による事業経過報告



▲西原会長の挨拶



▲オーガニック牛乳で乾杯



▲佐野組合長の万歳三唱

1月30日に網走開発建設部主催の国営農地再編整備事業津別地区完了報告会、2月8日に町主催の同事業完成祝賀会が開催されました。

津別町の農地は大型機械による作業を行うには区画が小さく、また排水不良などが生じ、効率的な農作業を行うための妨げとなっていたことなどから、本事業は農地を再編整備するため、区画整理等2,433haを一体的に整備し、農業生産性の向上と経営の安定を目的に、平成27年度に着工した、総事業費約174億円の大事業です。

完了報告会では、網走開発建設部が事業経過を報告し、本事業推進協議会の西原芳明会長が「無事に完了し、感謝しています」と述べました。

祝賀会には、国会議員をはじめとした来賓等が出席。津別町のオーガニック牛乳で乾杯し、クマヤキなどの銘菓を味わいながら、事業の思い出話を花を咲かせました。

最後は、JAつべつの佐野組合長による万歳三唱で締めくくられ、盛会のうちに幕を閉じました。



第12回つべつ

アイスクャンドルまつり

冬の夜を彩る 4500個の灯り

2月1日、「第12回つべつアイスクャンドルまつり」がさんさん館で開催されました。会場には町民や児童館、実行委員会が作成した延べ4500個のアイスクャンドルに明かりが灯され、幻想的な光景に包まれました。実行委員長の高橋以明さんは「暖冬でアイスクャンドル作りが苦勞しました。また、子どもたちに喜んでもらおうと猫バスのかまくらを用意しました。本日は穏やかな天気なので、皆さん大いに楽しんでください」とあいさつしました。会場には、アイスクャンドルのほか、実行委員会と消防職員が協力して作った毎年おなじみの雪の滑り台と、猫バスのかまくらが設置され、多くの子どもたちで賑わいました。また、焼き鳥や流水牛肉まん、ポテトフライなどの露店が並び、室内では節分イベントやリコーダー・オカリナの演奏、バレーンパフォーマンスなどが行われ、町内外からの来場者で大盛況となりました。



▲親子ですべり台を楽しむ



▲実行委員会と消防職員による力作の猫バス



▲高橋実行委員長とまる太くんによるアイスクャンドル点灯式